

# 「ワイワイ、ガヤガヤ楽しむ」関西クラブの基本！ 今年もイベント満載、お楽しみに

先月27日に、トーランスのホリデーインにて、関西クラブの新年会が賑やかに行われた。関西クラブは、「なにわ会」という関西出身メンバーによって始まったが、現在は、関西出身者だけに限らず、関西大好き、たこ焼き大好きという人たちも入会している。今回の参加者は、当初の予定参加人数を大幅に上回る150名が集まり、落語、歌、ギターや豪華賞品をかけたジャンケン大会などで大いに盛り上がった。

関西クラブ会長のジョージ・エサカさんは、新年会に参加するため、インドから26時間かけて帰ってきたほど、この会への意気込みはすごい。挨拶で「今年もよろしくお祈りします」と述べると、会場から「頑張れよ〜！」と間の手が入り、参加者は大爆笑。「縁があれば、いろんなところで協力し合える。わけもわからん、出身地もばらばら、できるだけワイワイガヤガヤ賑わって、皆で楽しく、毎年、関西から学生を呼ぶために、今年もイベントを沢山します」と今年の抱負を語った。続いて、古沢洋志在ロサンゼルス日本領事館領事が、お嬢さんに教えてもらったばかりの新日本語、「あけおめ、ことよろ（あけましておめでと。今年もよろしく）」と挨拶し、参加者達は再び大笑い。領事は「兒玉前総領事から、皆様にお別れのご挨拶ができず、失礼致しました。みなさんにくれぐれもよろしくとのことです」と語り、また、関西クラブが毎年行っている学生研修プログラムについて、「感銘を受けた。関西クラブの事業に総領事館から敬意と感謝の意を表したい」と述べた。



永年会員のみなさん：左から、塩野伸太郎さん、岡本春樹さん、山口淑子さん、中垣純道さん、



2008年度開催クラブ新役員たち

昼食後、ギターや歌のエンターテインメントが始まり、会場にリラックスムードが漂うと、川田薫さんによる落語「やくざ学習塾」に、会場は再び大爆笑の渦。

そして、いよいよクライマックス。関西クラブの名物、ラッフルとジャンケン大会の始まり。ジャンケン大会は、一人1ドルの参加費で、ハワイ往復チケットや関西往復チケットなど豪華賞品をかけた、全員が参加して大いに盛り上がった。エサカ会長曰く、「自分の腕力で参加して、ハワイ、関西往復チケット、テレビ、自分で勝ち取る」。集まった参加費は、最後に住山弘学生研修委員長に渡され、すべて研修のために使われる。

今年も関西クラブは、勢いあり、情熱たっぷり、もちろん、おもしろい！。イベントも続々と開催予定で、皆でワイワイ、ガヤガヤ楽しむ機会を提供してくれる。 -Tomomi Kanemaru



写真上：落語を披露する川田薫さん、写真左上：やったー！チョコキで、豪華賞品ゲットしました！写真右下：ジャンケン大会は、会場全体が白熱

# 10日、JFNOC『第1回交流会』開催！ これからのオレンジ郡に注目！イベントも活発化！？

昨年11月に発足したJapanese Friendship Network in Orange County (JFNOC) は、「オレンジ郡に在住する日系人や日本人のネットワークを作り、相互に助け合うことを第一の目的」として作られた団体で、アーバインにある『日本人町町内会館』を拠点に活動してる。今回は、代表の住山弘医学博士と事務局の朝倉巨瑞さんに、JFNOCを作るにいたった経緯や活動内容を聞いた。

JFNOCを発足したきっかけは。

住山代表（写真左）「ある映画の上映会の中で、ロサンゼルスまでは年寄りはいけなくて、オレンジ郡でやってほしいと要望があったんです。けれど、こちらでイベントをやろうとしても、ネットワークがない。いろんなグループがあるのにもかかわらず、情報は、ある部分には流れて、ある部分には流れない。また、今までは、情報も個人的に流していた。そこで、情報の共有を行おう組織が必要だと思いました。それに、この団体を通して、お互いに知り合ったり、交流したり、理解し合えたらいいですね」

教育関係に非常に熱心な住山代表の元には、個人的に様々な情報が寄せられるという。それらの情報を効率よく、着実に広げたいと住山代表が感じたのは自然の流れだ。JFNOCの活動は、日系のコミュニティーの連携だけでなく他国のグループとの交流にまで広がる。

住山代表「ある時、中国人のコーラスグルー

プから、幾つかの国で合唱をやるので、日本も入ってくれと僕の所に話が来た。そして、コーラスグループを探しました。JFNOCは、外国人との交流の核にもなれますし、僕がいないときでも、組織があれば機能していけます」

最初は、個人宅に集まっていたが、皆がいつでも集まれる場所が必要となってきたため、朝倉さんが場所を提供。そこは「日本人町町内会館」と名付けられた。

朝倉さん（写真右）「個々に団体を束ねている方が、オレンジ郡にもいます。このネットワークを使えば、もっと簡単に、いろんな人に情報を伝えられます。業種も様々で、カルチャー的な人もいるし、学校、ビジネス、いろんなところに情報のネットワークを張り巡らせれるんじゃないかと。そういう団体の方が、うまく団体を運営していけるような一つのハブ作りができればいいんじゃないかなと思いました」

JFNOCは、情報を共有したりする他に、日米関係の相互理解を深めるための日本語スピーチコンテストも主催している。今後のオレンジ郡は、活発になりそうだ。

JFNOCへのお問い合わせは、  
住山代表：sumiyama2@cox.net  
朝倉さん：asakura@cox.net

JFNOC『第1回交流会』  
2月10日(日)午後12時～2時  
日本町町内会館  
17952 Skypark Circle, Unit K, Irvine 92614  
お問い合わせ：小田清、949-285-8249

## 関西クラブ学生研修プログラムとは

2003年に関西活性化を促すために米国在住の関西人も何かをしようと始めた関西クラブの事業。関西の学生に「関西の活性化について」エッセイを書いてもらい、2名をロサンゼルスに招き、公共施設や若手企業家との懇親会などを開く。学生研修委員長の住山弘医学博士は、「外を見て、何か得てほしい。将来、関西のリーダーとして育ててくれたら。選ばれなかった人には、応募することで関西について考えるという機会を提供する」と語った。

